

RYOBI

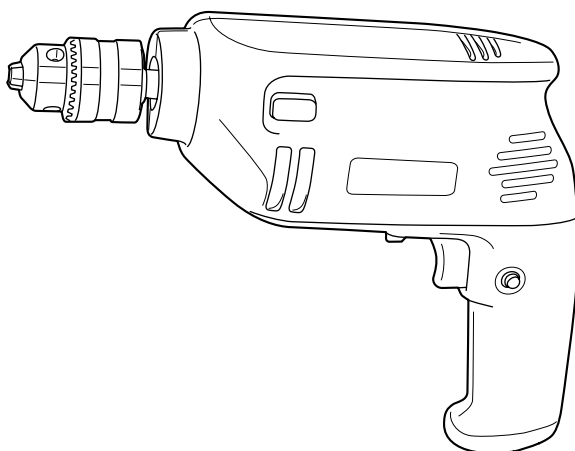
振動ドリル (正逆転・無段変速)

MPD-10VR

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、本機的能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。

また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。



もくじ

- ・安全上のご注意 1 ~ 5
- ・各部の名称 5
- ・仕様・付属品・用途 6
- ・操作方法 7 ~ 8
- ・穴あけ作業 9 ~ 11
- ・先端工具（別販売品） 11 ~ 12
- ・保守と点検 13

ホーム用

□ 二重絶縁

このたびは、リョービ振動ドリルをお買い上げいただきありがとうございます。
安全に能率よくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を最後までよくお読みください。
使用上の注意事項、本機的能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださ
るようお願いいたします。

注意文の「⚠ 警告」、「⚠ 注意」の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠ 警告」と「⚠ 注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表
します。

⚠ 警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内
容のご注意。

⚠ 注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物
的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、**⚠ 注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠ 警告・**⚠ 注意**以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は
「(注)」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

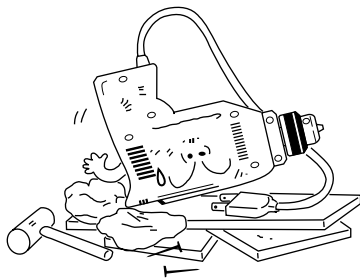
安全上のご注意

- ・火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず
守ってください。
- ・ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用
してください。
- ・お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ・他の人に貸出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

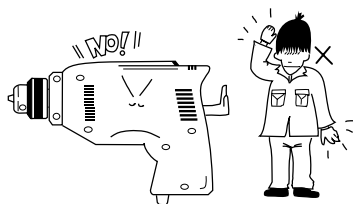
警 告 ⚠

安全作業のために：

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ・ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - ・電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
 - ・作業場は十分に明るくしてください。
 - ・可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
3. 感電に注意してください。
 - ・電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてくだ
さい。(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
4. 子供を近づけないでください。
 - ・作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - ・作業員以外、作業場へ近づけないでください。

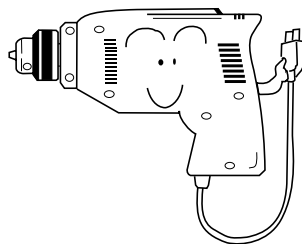


5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - ・乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。
6. 無理して使用しないでください。
 - ・安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
7. 作業に合った電動工具を使用してください。
 - ・小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
 - ・指定された用途以外に使用しないでください。
8. きちんとした服装で作業してください。
 - ・だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - ・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑止めのついた履物の使用をお勧めします。
 - ・長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
9. 保護めがねを使用してください。
 - ・作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
10. 防音保護具を着用してください。
 - ・騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。
11. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
 - ・電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置に確実に接続し、正しく使用してください。
12. コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
 - ・コードを熱、油、角のつがった所に近づけないでください。
13. 加工するものをしっかりと固定してください。
 - ・加工するものを固定するために、クランプや万力を使用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
14. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
15. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
 - ・安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - ・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・コードは定期的な点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、またはリョービ販売営業所に修理を依頼してください。
 - ・延長コードを使用する場合は、定期的な点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。



⚠ 警告

16. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
 - ・使用しない、または修理する場合。
 - ・刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
 - ・その他危険が予想される場合。
17. 調節キーやレンチなどは、必ず取外してください。
 - ・電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取外してあることを確認してください。
18. 不意な始動は避けてください。
 - ・電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
 - ・電源プラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
19. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
 - ・屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
20. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。
 - ・電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周囲の状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - ・常識を働かせてください。
 - ・疲れている場合は、使用しないでください。
21. 損傷した部品がないか点検してください。
 - ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - ・可動部分の位置調整、および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
 - ・破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
取扱説明書に指示されていない場合は、お買い上げの販売店、またはリョービ販売営業所に修理を依頼してください。
スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、またはリョービ販売営業所に修理を依頼してください。
 - ・スイッチで始動、および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。
22. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
 - ・この取扱説明書、およびリョービパワーツールカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。
23. 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。
 - ・この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - ・修理は、必ずお買い上げの販売店、またはリョービ販売営業所にお申し付けください。
 - ・修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。



この取扱説明書は、大切に保管してください。

騒音について

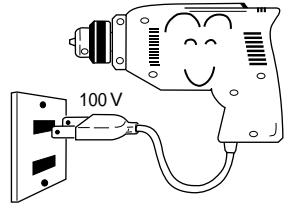
ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

振動ドリルご使用に際して

先に電動工具としての共通の警告・注意事項を述べましたが、振動ドリルをご使用の際には、さらにつぎに述べる警告・注意事項を守ってください。

⚠ 警告

1. 使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. 作業中は、本体が振回されることがあります。使用中は、本体を確実に保持してください。
 - ・確実に保持していないと、けがの原因になります。
3. 使用中は、工具類(ビットなど)や切り屑などに手や顔などを近づけないでください。
 - ・けがの原因になります。
4. 作業中、工具が電線管・水道管やガス管などの埋設物に触れると感電やガス漏れの恐れがあります。作業前に埋設物がないかどうか十分確認してください。
 - ・事故の原因になります。
5. 誤って落としたり、ぶつけたときは、工具類(ビットなど)や本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
6. 使用中、機械の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、またはリョービ販売営業所に点検・修理を依頼してください。
 - ・そのまま使用していると、けがの原因になります。
7. シリカや石綿は、人体に有害です。このような材料に穴あけするときは、防じん対策をしてください。



⚠ 注意

1. 工具類(ビットなど)や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
 - ・確実にないと外れたりし、けがの原因になります。
2. 使用中は、軍手などの巻込まれる恐れのある手袋は使用しないでください。
 - ・回転部に巻込まれ、けがの原因になります。
3. 細径ドリルは折れやすいので注意してください。
 - ・飛散してけがの原因になります。
4. 作業直後の工具類(ビットなど)、材料、切り屑などは非常に熱くなっているので、触れないでください。
 - ・やけどの原因になります。

⚠ 注意

5. 工具類（ビットなど）でコードを切断しないように注意してください。
万一、コードを傷つけたり、誤って切断した場合は直ちに電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
 - ・感電の恐れがあります。
6. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確認してください。また、コードを引っ張ったり、引っかけたりしないようにしてください。
 - ・材料や本体などを落としたりしたときなど、事故の原因になります。
7. 本体を作動させたまま床などに放置しないでください。
 - ・けがの原因になります。

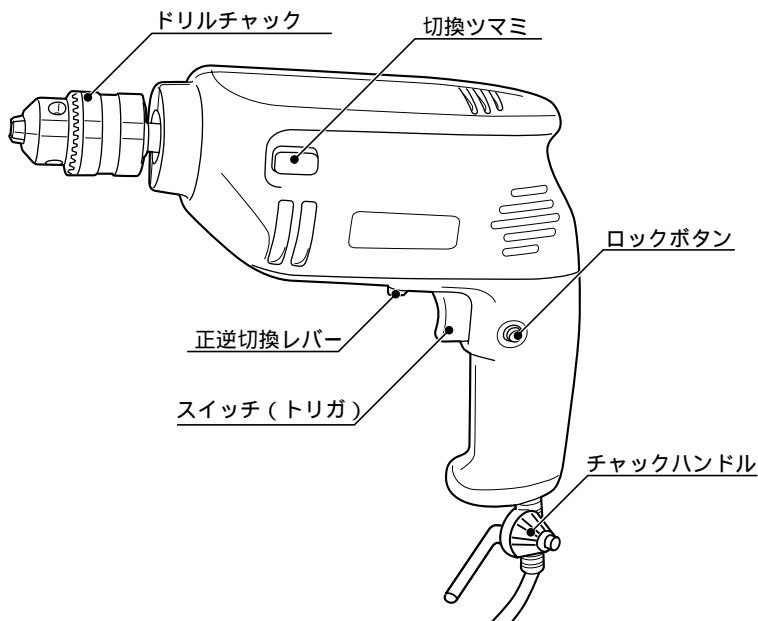
□ 二重絶縁について

二重絶縁とは、電気回路と使用者の間が異なる2つの絶縁物により絶縁され、感電に対する安全性が高くなった構造を言います。このためアース（接地）する必要がありません。

延長コードは・・・

延長コードを使用する場合は、できる限り短い（30 m以内）本体取付コードより太い工具用のキャプタイヤコードを利用してください。また、ドラム式の延長コードを利用する場合は、巻いたまま使うと熱を持ちますので、コードを全部引出して使用してください。

各部の名称



仕様

- ・電源 单相・交流 100V 50/60Hz
- ・電流 3.1A
- ・消費電力 300W
- ・無負荷回転数 (no)0 ~ 2,700min⁻¹
- ・振動数 0 ~ 29,700min⁻¹
- ・穴あけ能力 (直径)
 - 最適範囲 コンクリート 3.2 ~ 8mm
 - 木工 1.5 ~ 12mm
 - 鉄工 1.5 ~ 8mm
 - 最大 コンクリート 10mm
 - 木工 15mm
 - 鉄工 10mm
- ・チャック (把握範囲) 1.0 ~ 10mm
- ・機体寸法 (長さ×幅×高さ) 249 × 66 × 187mm
- ・質量 1.2kg
- ・コード長さ 1.5m
- ・絶縁方式 二重絶縁

付属品

- ・チャックハンドル 1
- ・コンクリートビット (直径6mm ×長さ100mm) 1
- ・PC プラグ (外径6mm ×長さ25mm) 5

用途

- ・コンクリート、レンガなどの穴あけ
- ・各種木材、金属、樹脂などの穴あけ

操作方法

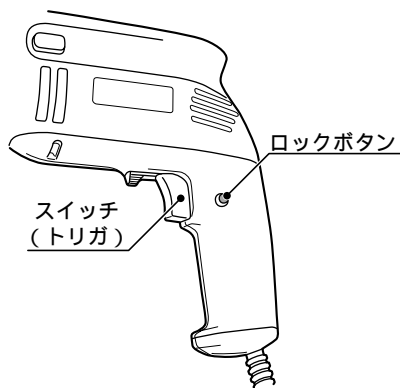
スイッチの扱い方

⚠ 警告

- ・使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。

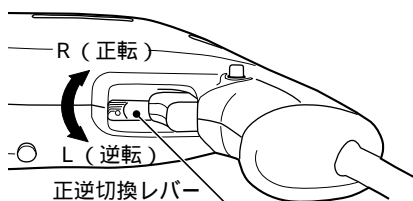
- ・スイッチはトリガを引くと入り、離すと切れます。
 - ・トリガを引いた状態で握り部側面のロックボタンを押すとトリガから指を離してもスイッチは入った状態となります。この場合、再度トリガを引くとロックボタンが解除され、スイッチは切れます。
- 連続使用の場合は、このロックボタンを利用してください。

(注) 低速回転は位置決めなどに使用し、通常の作業ではトリガをいっぱいに引いた状態で使用してください。



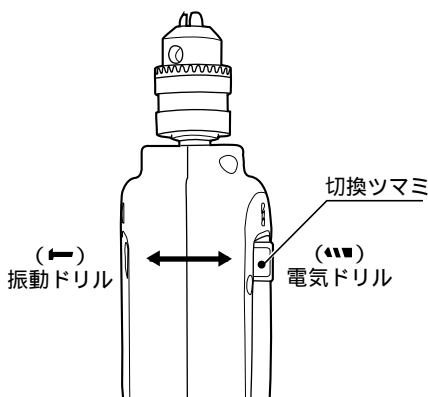
正転・逆転の切換え

- ・正逆切換レバーをR側に倒すと右回転（正転）、L側に倒すと左回転（逆転）します。
- ・正逆切換レバーの操作は、スイッチを切り、回転が完全に停止した状態で行なってください。



ドリル、振動ドリルの切換え

- ・電気ドリル、振動ドリルの切換えは、切換ツマミで簡単に行なうことができます。
- ・コンクリート、レンガなどに穴あけをする場合は、振動ドリル表示側 (←) の切換ツマミを本体に向けて押込んでください。回転+振動の振動ドリルとして使用できます。
- ・金属、木材、樹脂などに穴あけをする場合は、電気ドリル表示側 (→) の切換ツマミを本体に向けて押込んでください。回転のみの電気ドリルとして使用できます。



ドリルビットの取付け

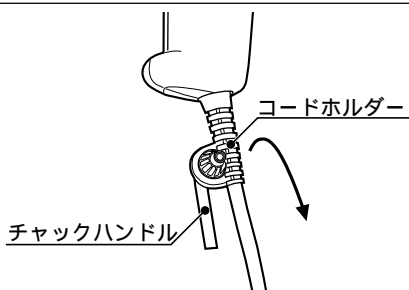
⚠ 警告

- ・ドリルビットの取付け、取外しのときは、スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。

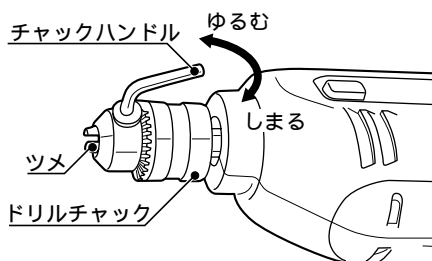
⚠ 注意

- ・ドリルビットは、取扱説明書に従って確実に取付けてください。確実にないと外れたりし、けがの原因になります。

- ・チャックハンドルをコードホルダーから矢印方向へ引抜きます。
使用後は逆の要領で装着してください。



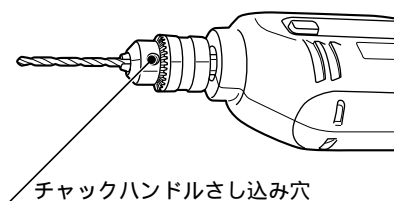
- ・ドリルチャックの3ヶ所の穴のうち、1ヶ所の穴にチャックハンドルをさし込み、左側に回すとドリルチャックの先端のツメが開きます。



- ・ドリルビットの軸が3本のツメの中央にあることを確かめて、チャックハンドルをチャックハンドルさし込み穴(3ヶ所)に順に入れ、右に回して均等に締付けてください。

(注)ドリルビットはチャックの奥に当たるまでさし込んでください。

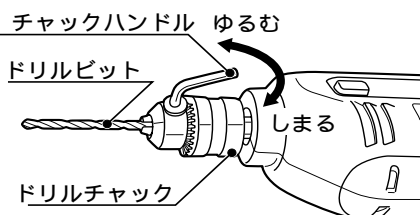
- ・周囲の安全を確かめた後、軽くスイッチを入れ、ドリルビットの先端にブレがないことを確認してください。



- ・ブレがあるときは、チャックの回転軸(ツメの中央)にドリルビットが納まっていませんので、電源プラグを電源コンセントから抜き、ドリルビットを再度取付け直してください。

(注)チャックは構造上締付けるとツメが前に出てきます。たいたたり、こじったりしないでください。

- ・取外しは、取付けの逆の要領で行なってください。



穴あけ作業

⚠ 警告

- ・作業中、本体が振回されることがあります。使用中は、本体を確実に保持してください。確実に保持していないと、けがの原因になります。
- ・使用中は、工具類（ビットなど）や切り屑に手や顔などを近づけないでください。けがの原因になります。


⚠ 注意

- ・工具類（ビットなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。確実にないと外れたりし、けがの原因になります。
- ・作業直後の工具類（ビットなど）、材料、切り屑などは非常に熱くなっているので触れないでください。やけどの原因になります。
- ・本体を作動させたまま床などに放置しないでください。けがの原因になります。

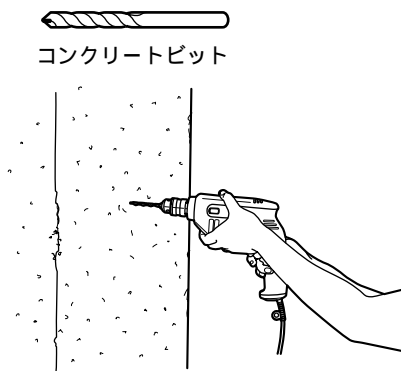
（注）作業途中（休憩時など）に、機械を直射日光の当たる場所、高温になる場所に放置しないでください。モーターの冷却が十分に行なわれず、モーター焼けの原因になります。

（注）連続使用の場合、負荷のかけ過ぎで使用が続けられますと、モーター焼けの原因になります。本体のハウジング部（モーター周辺）が熱くなるようでしたら、使用を中止して温度が下がるまで待ってください。

コンクリート、レンガなどへの穴あけ

- ・コンクリートビットを使用してください。
- ・使用可能なビットの太さは最大10 mmですが、8 mm ぐらいまでが通常無理なく使用していただけの範囲です。
- ・切換ツマミを（)位置に合わせ、回転＋振動の振動ドリルで使用してください。
- ・低速で位置決めを行なったのち作業をするとビットがすべりません。また、最初から高速で強く押え駆動させますと、カケ、割れなどが発生する場合があります。

（注）コンクリートビットは、穴あけ作業中、刃先が熱くなりますがそのまま使用してください。熱くなった刃先を水や油で急冷しないでください。ビット寿命を低下させます。

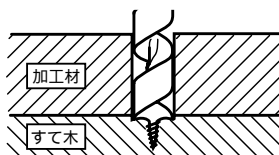
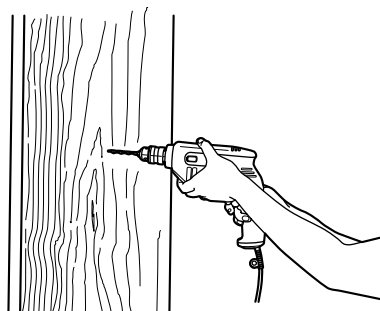


木材などへの穴あけ

- ・木工キリを使用してください。
(小径の穴あけには鉄工キリも使用できません。)
- ・使用可能なキリの太さは最大 15 mm ですが、12 mm ぐらいまでが通常無理なく使用していただける範囲です。
- ・切換ツマミを(Ⅲ)位置に合わせ、回転のみの電気ドリルで使用してください。
- ・キリ先を穴あけ位置に軽く当て、まっすぐに保ってスイッチを入れます。
- ・回転が十分上がってから穴あけを始めてください。
- ・切削くずがスムーズにでる程度にキリを押ししてください。無理に力を入れても穴は早くあきません。
- ・裏側に不要な木材(すて木)を当て、一緒にあけると裏側もきれいに仕上がります。



木工キリ

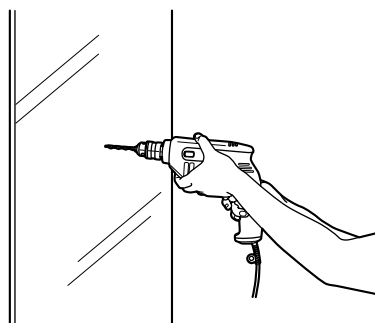


金属、プラスチックなどへの穴あけ

- ・鉄工キリを使用してください。
- ・使用可能なキリの太さは最大 10 mm ですが、8 mm ぐらいまでが通常無理なく使用していただける範囲です。
- ・切換ツマミを(Ⅲ)位置に合わせ、回転のみの電気ドリルで使用してください。
- ・鉄工キリを使って穴あけをするときは、穴あけ位置へセンターポンチ(市販品を利用してください。)を打っておきますとキリの先がすべらず、正確な位置に穴あけができます。
- ・金属への穴あけの場合、鉄工キリの切れ味と耐久性を維持するため、市販の切削剤(切削オイル、ギヤオイル、ミシン油など)の使用をお勧めします。



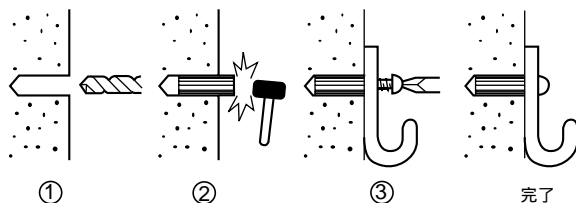
鉄工キリ



PC プラグ（付属品）の使用例

- ・使用するネジのサイズに合わせ、目安表を参考に、プラグ、ビットを選択してください。下穴あけは、プラグ長さより3 mm程度深くあけてください。
- ・ビットにマジック、テープなどで希望の下穴深さを印し、使用すると便利です。

1. コンクリートビットを使用し、下穴を開けます。
2. 付属品のPC プラグを下穴にさし込み、ハンマで打込みます。
3. ドライバでネジを締付けます。



PCプラグの目安表 単位(mm)

プラグ (径×長さ)	ネジ (径)	ビット (径)
5×25	2.4~2.7	5
6×25	3.1~3.8	6
6×35	3.1~3.8	6
7×25	4.1~4.5	7
7×35	4.1~4.5	7
8×35	5.1~5.8	8
8×45	5.1~5.8	8

(注) 用途に合わせて、市販のアンカープラグをお買い求めください。
市販のアンカープラグを使用する際はプラグの説明書をよくお読みいただき、使用してください。

先端工具（別販売品）

- ・お手軽にドリルを利用していただけますよう各種先端工具を用意しております。用途に合わせてお買い求めください。

コンクリートビット



(注) コンクリートビットを使用する場合は、回転+振動の振動ドリルで使用してください。回転のみの電気ドリルでは穴はあきません。

直径 (mm)		全長 (mm)
3.2	3.5	85
4.0	4.3	
4.5	4.8	
5.0		
5.5	6.0	100
6.4	6.5	
7.0	7.5	125
8.0	8.5	

⚠ 注意

- ・ 下記先端工具を使用する場合は、回転のみの電気ドリルで使用してください。回転十打撃の振動ドリルで使用すると、先端工具をいためるばかりか、破損によるけがの原因になります。

フレキシブルシャフト

用途：小さな細工加工、穴あけ、みがき、バリ取り

M-1021 ミニフレキシブルシャフト(長さ 900 mm)

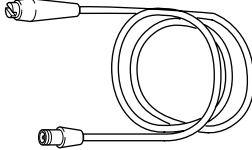
セット内容

- ・ コレットチャック (1.0・2.4・3.0 mm)
- ・ L型レンチ・片口スパナ

M-1026 フレキシブルシャフト(長さ 1300 mm)

セット内容

- ・ チャック (0 ~ 6.5 mm)
- ・ チャックハンドル
- ・ L型レンチ
- ・ 片口スパナ

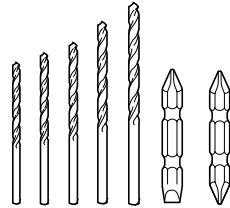


鉄工キリ・ドライバビットセット (M-1028)

用途：木、軟鋼板、プラスチックへの穴あけ
ネジの締付け

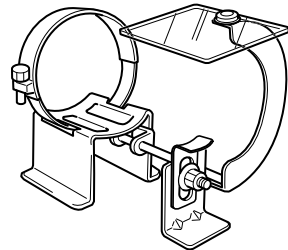
セット内容

- ・ 鉄工キリ 5本 (2・2.5・3・4・5mm)
- ・ ドライバビット (プラス No.1 & マイナス、プラス No.2 & 3)



水平ドリルスタンド (M-1011)

用途：ドリル本体の水平固定に



ピンバイスセット (M-1601)

ドリルビット適合サイズ：キリ径 0.7 ~ 3.0mm



保守と点検

警告

- ・保守、点検、部品交換などのお手入れの前にスイッチを切り、電源プラグを必ず電源コンセントから抜いてください。けがや感電の原因になります。

ドリルビットの交換

- ・摩耗したドリルビットを使用すると能率が悪いばかりか、モーターに無理な力をかけることとなります。早めに交換してください。

各部取付けネジの点検

- ・ネジなどのゆるみがないか確認してください。もし、ゆるみがある場合は締直してください。

使用後の手入れ

- ・油污れなどをふき取り、使いやすい状態にしておいてください。乾いた布か石けん水をつけた布で本体をふいてください。
- ・ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本体をいためます。また、水洗いは絶対にしないでください。

作業後の保管

- ・高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子さまの手の届く範囲や落下の恐れのあるところはさけてください。

カーボンブラシについて

- ・本機には消耗品のカーボンブラシを使用しています。カーボンブラシが短くなった場合には交換が必要です。カーボンブラシは総作業時間約 50 時間程度で寿命となります。週に 1 度 1 時間程度の使用の場合、約 1 年です。1 年に 1 度定期点検をお買い上げの販売店に依頼されることをおすすめします。
- ・短くなったカーボンブラシをそのまま使用すると、モーター焼けの原因になります。

修理について

- ・本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買い上げの販売店にご用命ください。
- その他、部品ご購入の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問など遠慮なくお問い合わせください。

NOTE

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、
ご遠慮なくお買い上げの販売店にお問い合わせください。

改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。

RYOBI

発売元

リョービ販売株式会社

本社 〒468-8512

名古屋市天白区久方1-145-1

TEL.(052)806-5111 FAX.(052)806-5141